

町の考え方を問う

一 般 質 問

6月定例会では観光問題・福祉問題など、町政全般へ
8人14項目にわたり質問しました。



箱根芦之湯フラワーセンター

観光

HOTO 21観光プラン
実施計画について

Q 町の考え方について、
次の5点について伺う。

- 訪れる人を温かく迎えるためのバリアの除去は箱根に住む人が幸せに暮らせる町を目指すことにより導くところがあるが、具体的にどのようなことを行うのか
- 平成15年度・17年度行う短期アクションプランの事業概算額は2億7千万円以上であり、来年度臨時財政特別債の発行もできない中、どのように本事業計画を行うのか
- 観光来訪者数の目標を明示していないのはなぜか
- 自然との共生を理念として掲げる中、過去に自然と

の共生が断ち切られるような事例について、どのように分析し、将来に生かそうとしているのか

5 町の観光産業の歴史的発展やその中のさまざまな問題について、どのような検討を行ったか

A 1点目について、実施計画の中の表現は、来訪者にとって利用しやすい町は、住民にとっても住みやすい町であるという誰もが利用しやすい観光地づくりの基本的な理念を記述されており、特に住民生活に直結する形での内容のものは示されていないが、個々のプロジェクトがより多

く観光客の皆様が利用できるだけでなく、自然との共生と大いに関連のある保護と開発については、観光地としての箱根の将来に大きくかかわる重要なテーマであるので、自然との調和、自然との共生を意を配しながら、施策の展開を図っていくなければならないと思っております。

5点目について、観光戦略会議では、観光来訪者の利便性を高めていく上からも、今までの競争から共存共栄という観点に立つて、長年の懸案でもあった共通乗車券の発行などについて、積極的な議論を展開していただき、優先順位の高いものとして取り上げるなど、今日まで箱根が歩んできた歴史認識を踏まえた上で議論をしていただいた。

一般質問ではこのほか
次の事項も質問しました。
(順不同)

- 省エネのために夏はノーネクタイで
- 箱根町第4次総合計画について
- 有事三法と箱根町の平和施策について
- 猿害被害を防止する施策について
- 介護保険料の減免について
- 大学生、専門学校通学費貸付制度の創設について

体的にに向けた取り組みをしていくものである。

3点目について、観光客の数ではなく、少しでも長い時間箱根に滞在してもらえようとする、そのホスピタリティを向上させる方が大切であるなどの意見が出され、数字の大小ではなく、来訪者をいかに温かく迎えるかということが、目標数値の設定を行わなかったものである。

4点目について、自然との共生と大いに関連のある保護と開発については、観光地としての箱根の将来に大きくかかわる重要なテーマであるので、自然との調和、自然との共生を意を配しながら、施策の展開を図っていくなければならないと思っております。